

## 大阪広域水道企業団 平成29年度当初予算案の概要

計数調整中

## 予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (水道用水供給事業)	平成29年度当初予算額	815億04百万円
	平成28年度当初予算額	815億80百万円
	平成28年度最終予算額	764億50百万円
	前年度比 (29年度当初/28年度当初)	99.9%

前年度当初比 △76百万円

(主な増減要因) 収益的支出

- ・動力費 △2億24百万円 (電気料金単価変動による減)
- ・修繕費 6億42百万円 (補修工事の増)
- ・減価償却費 △13億5百万円 (対象資産の減)
- ・特別損失 11億73百万円 (丹生ダム負担金)

資本的支出

- ・建設受託工事費 6億19百万円 (構成市町村からの建設受託工事の増)
- ・企業債償還金 △7億65百万円 (満期償還額の減)

上段 平成29当初  
中段 平成28当初  
下段 平成28最終

事業名		事業費	主な内容
収益的 収支	水道用水供給事業収益	439億56百万円 445億16百万円 446億17百万円	営業収益(給水収益等) 41,341百万円 ・有収水量508百万m <sup>3</sup> (前年度比△3百万m <sup>3</sup> ) 営業外収益(長期前受金戻入等) 2,604百万円
	水道用水供給事業費用	401億97百万円 402億81百万円 381億01百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 35,527百万円 営業外費用(企業債利息等) 3,039百万円 特別損失(丹生ダム負担金等) 1,431百万円
資本的 収支	水道用水供給事業資本的収入	150億78百万円 136億26百万円 126億65百万円	企業債 11,500百万円 国庫補助金等 2,452百万円
	水道用水供給事業資本的支出	413億07百万円 412億99百万円 383億49百万円	建設改良費(改良費等) 28,320百万円 企業債償還金 12,987百万円

※資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんする。

※ 単年度損益	19億21百万円 24億77百万円 50億57百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成29年度主要事業の概要

〔水道事業会計（水道用水供給事業）〕

上段 平成29当初  
中段 平成28当初  
下段 平成28最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給</b>		
1. 改良更新事業の推進	259億48百万円 258億11百万円 229億34百万円	<p>施設の耐震化や老朽施設の更新、供給系統の二重化など府内受水市町村への安定供給を維持するとともに、災害に強い水道施設の整備を進めるため、浄水・送水施設等の改良更新事業を着実に推進する。</p> <p>(1) 震災対策 <span style="float: right;">155億48百万円</span></p> <p>震災時においても最低限の社会経済活動を維持できる信頼性の高い水道システムを整備する。</p> <p>① 災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス送水管の整備 〔藤井寺ポンプ場～泉北浄水池〕</li> <li>・系統連絡送水管の整備 〔庭窪～万博〕</li> <li>・松原ポンプ場築造工事</li> <li>・万博公園浄水施設非常用発電施設設置工事 <b>【新】</b></li> </ul> <p>② 既設建造物の耐震化</p> <p>ア) 浄水池の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万博公園浄水施設浄水池耐震補強工事</li> <li>・泉北浄水池更新及びポンプ棟築造工事</li> <li>・千里浄水池更新工事(新2号池) <b>【新】</b></li> </ul> <p>イ) 水管橋の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水管橋耐震補強工事 〔豊川水管橋・茨木市〕 〔7 拡石澄川水管橋・池田市ほか〕 〔番川水管橋・岬町〕</li> </ul> <p>(2) 安定化対策 <span style="float: right;">72億7百万円</span></p> <p>安定的な水処理業務等を行えるよう、施設整備を実施する。</p> <p>① 市町村水道との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送水管布設工事〔千里幹線バイパス管、河南連絡管〕</li> <li>・阪南・岬バイパス送水管整備事業</li> <li>・あんしん給水栓改良工事</li> <li>・受水分岐の2系統化</li> </ul> <p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭窪浄水場後ろ過棟築造工事</li> <li>・庭窪浄水場後ろ過施設設備工事</li> <li>・磯島取水場ほかITV設備更新維持事業</li> </ul>

注) **【新】** は平成29年度新規事業

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初  
 下段 平成28最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給（続き）</b>		
1. 改良更新事業の推進 （続き）  2. 災害対策	14百万円 — —	(3) 老朽化対策 17億35百万円 安定かつ効率的な施設運用が行えるよう、老朽化施設の改良更新を実施する。 ・村野浄水場 階層系オゾン設備更新維持事業 ・枚岡ポンプ場 ポンプ設備改良工事【新】  (1) 応急給水袋の整備 【新】 14百万円
<b>II. 安全・安心で良質な水</b>		
1. 水処理課題への対応  2. 水質管理の共同化の推進  3. おいしい水のPR	35億94百万円 16億94百万円 17億94百万円 （※ 再掲分含む）  2億44百万円 1億88百万円 1億88百万円  8百万円 8百万円 8百万円	(1) 新たな水処理課題への対応 35億94百万円  既存の高度浄水処理に「後ろ過」を追加することで、より効率的・安定的な浄水処理を行う。  ・庭窪浄水場後ろ過棟築造工事（再掲） ・庭窪浄水場後ろ過施設設備工事（再掲）  (1) 市町村水質共同検査 59百万円  水質管理センターにおいて、企業団構成市町村水道（四條畷水道事業を含む）における水質検査を共同処理する。  (2) 河南水質管理ステーションの運営 1億85百万円  河南地域（富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、河南町及び太子水道事業、千早赤阪水道事業）における水質管理業務を共同処理する。  (1) 市町村との共同PR（利き水会の開催）6百万円  市町村でのイベント等において、水道水（高度浄水処理水）と市販飲料水の利き水を行うことにより、企業団や受水市町村の取組みをPRする。  (2) 出かける浄水場の実施 2百万円  職員が府内小学校に出向き「安全でおいしい水づくり」について学習の機会を提供する。

注）【新】は平成29年度新規事業

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初  
 下段 平成28最終

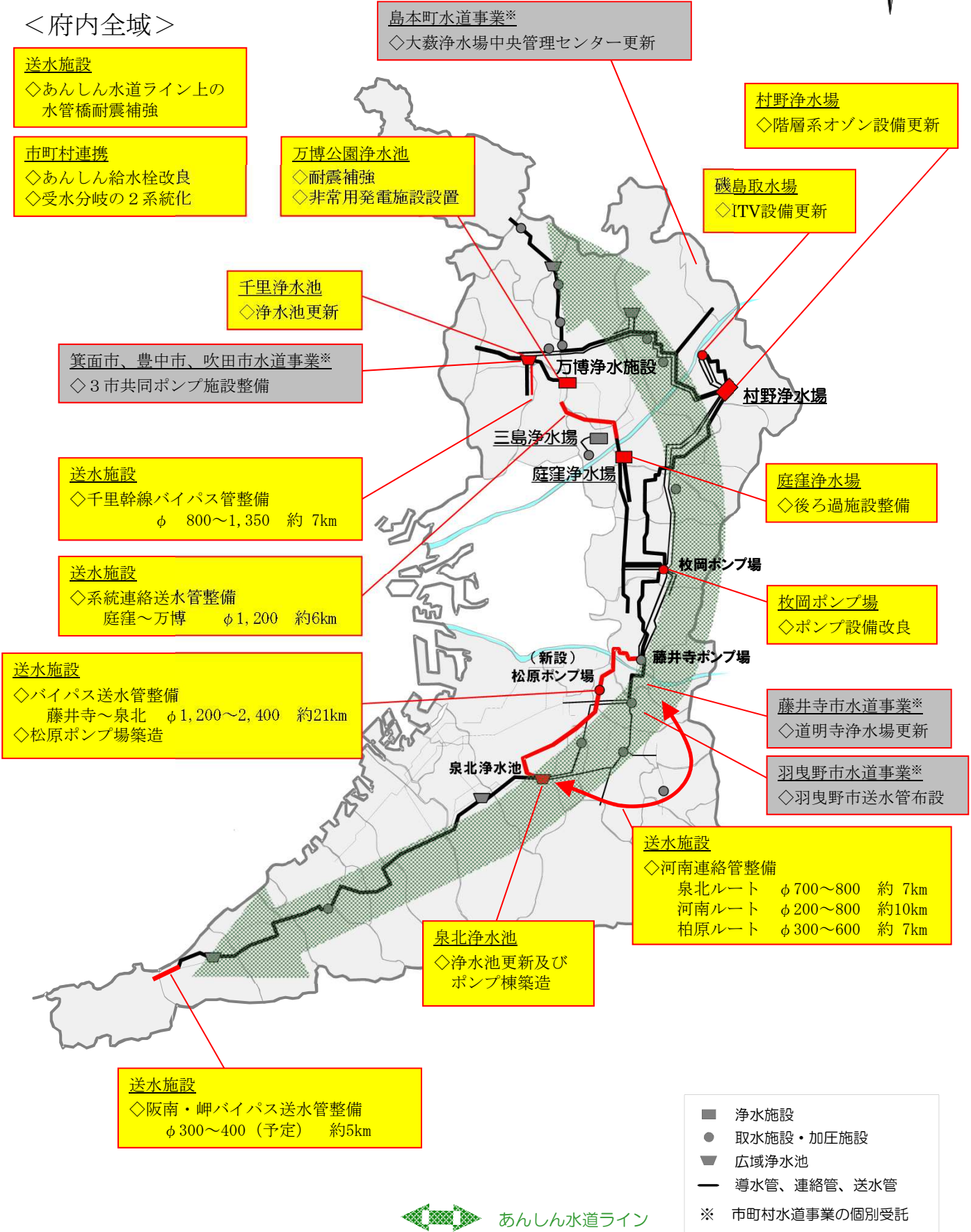
事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>III. 持続可能な事業運営</b>		
1. 広域的な事業運営	10億10百万円 4億4百万円 4億4百万円 (※ 再掲分含む)	(1) 広域化の調査検討 30百万円  新たに企業団と統合協議を行う団体との水道事業の統合に係る検討やブロック単位での広域化調査を行う。  (2) 事務の共同処理  ・災害用備蓄水の共同製作 8百万円 (8団体 約6.5万本)  ・河南水質管理ステーション 1億85百万円 の運営 (再掲)  (3) 市町村との連携拡大 7億87百万円  ・島本町大藪浄水場中央管理センター更新工事 ・藤井寺市道明寺浄水場更新工事 ・羽曳野市送水管布設工事 ・千里浄水池更新工事(新2号池)【3市共同ポンプ施設】【新】
2. スリムな組織	1億44百万円 1億44百万円 1億44百万円	(1)業務の効率化及び組織のスリム化 1億44百万円 アウトソーシングによる組織のスリム化  ・庭窪浄水場ほか 運転管理委託 ・総務業務センター運営委託
<b>IV. 環境保全</b>		
1. 廃棄物の有効活用の推進及び適正処理	1億44百万円 2億78百万円 2億26百万円	(1) 浄水発生土の有効活用の推進 1億06百万円  ・村野浄水場排水処理関連施設運転管理業務 ・浄水発生土有効利用等業務  (2) PCB廃棄物の適正処理の推進 38百万円
2. 環境に優しい水道事業体を目指す取組み	2百万円 2百万円 2百万円 (※ 再掲分)	(1) 環境学習の実施 2百万円  ・出かける浄水場の実施 (再掲)
<b>V. 国際貢献</b>		
1. タイMWAパートナーシップ協定に基づく技術交流	4百万円 4百万円 4百万円	(1) タイ王国首都圏水道公社 (MWA) との技術交流の取組み 4百万円

注) 【新】は平成29年度新規事業

# 平成29年度の主要事業(水道用水供給事業)



## < 府内全域 >





# 大阪広域水道企業団 平成29年度当初予算案の概要

**計数調整中**

## 予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計 (市町村域水道事業) 【3事業連結】	平成29年度当初予算額	25億31百万円
	平成28年度当初予算額 (※)	29億06百万円
	平成28年度最終予算額 (※)	27億96百万円
	前年度比 (29年度当初/28年度当初(※))	87.1%

(※) 平成28年度の3市町村水道事業の合計額を参考情報として記載している。

最終予算額欄には、現時点において各市町村で議決のあった補正後予算額の合計を記載している。

上段 平成29当初

中段 平成28当初(参考)

下段 平成28最終(参考)

	事業名	事業費【3事業連結】	主な内容																				
収益的 収支	水道事業収益	17億72百万円 17億85百万円 17億90百万円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">営業収益</td> <td style="width: 20%;">四條畷</td> <td style="width: 20%;">1,165百万円</td> <td style="width: 30%;">〔577万m<sup>3</sup>〕</td> </tr> <tr> <td>(給水収益等)</td> <td>太子</td> <td>254百万円</td> <td>〔133万m<sup>3</sup>〕</td> </tr> <tr> <td>[ ]内は有収水量</td> <td>千早赤阪</td> <td>130百万円</td> <td>〔58万m<sup>3</sup>〕</td> </tr> </table>	営業収益	四條畷	1,165百万円	〔577万m <sup>3</sup> 〕	(給水収益等)	太子	254百万円	〔133万m <sup>3</sup> 〕	[ ]内は有収水量	千早赤阪	130百万円	〔58万m <sup>3</sup> 〕								
	営業収益	四條畷	1,165百万円	〔577万m <sup>3</sup> 〕																			
(給水収益等)	太子	254百万円	〔133万m <sup>3</sup> 〕																				
[ ]内は有収水量	千早赤阪	130百万円	〔58万m <sup>3</sup> 〕																				
水道事業費用	17億54百万円 17億20百万円 17億24百万円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">営業費用</td> <td style="width: 20%;">四條畷</td> <td style="width: 20%;">1,225百万円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>(減価償却費、動力費、 薬品費、修繕費等)</td> <td>太子</td> <td>258百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>千早赤阪</td> <td>157百万円</td> <td></td> </tr> </table>	営業費用	四條畷	1,225百万円		(減価償却費、動力費、 薬品費、修繕費等)	太子	258百万円			千早赤阪	157百万円										
営業費用	四條畷	1,225百万円																					
(減価償却費、動力費、 薬品費、修繕費等)	太子	258百万円																					
	千早赤阪	157百万円																					
資本的 収支	水道事業資本的収入	3億62百万円 4億49百万円 3億53百万円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">企業債</td> <td style="width: 20%;">国庫補助金等(交付金)</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>四條畷 100百万円</td> <td>四條畷</td> <td>20百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>太子 87百万円</td> <td>太子</td> <td>39百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出資金</td> <td>千早赤阪</td> <td>23百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>千早赤阪 66百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	企業債	国庫補助金等(交付金)			四條畷 100百万円	四條畷	20百万円		太子 87百万円	太子	39百万円		出資金	千早赤阪	23百万円		千早赤阪 66百万円			
	企業債	国庫補助金等(交付金)																					
四條畷 100百万円	四條畷	20百万円																					
太子 87百万円	太子	39百万円																					
出資金	千早赤阪	23百万円																					
千早赤阪 66百万円																							
水道事業資本的支出	7億77百万円 11億86百万円 10億72百万円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">建設改良費</td> <td style="width: 20%;">四條畷</td> <td style="width: 20%;">222百万円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>太子</td> <td>193百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>千早赤阪</td> <td>128百万円</td> <td></td> </tr> </table>	建設改良費	四條畷	222百万円			太子	193百万円			千早赤阪	128百万円										
建設改良費	四條畷	222百万円																					
	太子	193百万円																					
	千早赤阪	128百万円																					

\*資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんする。

※ 単年度損益	6百万円 44百万円 41百万円
---------	------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

市町村域水道事業予算内訳

計数調整中

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初 (参考)  
 下段 平成28最終 (参考)

事業名		市町村域水道事業 【3事業連結】	四條畷水道事業	太子水道事業	千早赤阪水道事業
収益的 収支	水道事業収益	17億72百万円 17億85百万円 17億90百万円	13億15百万円 13億56百万円 13億56百万円	2億79百万円 2億77百万円 2億77百万円	1億78百万円 1億52百万円 1億57百万円
	水道事業費用	17億54百万円 17億20百万円 17億24百万円	13億08百万円 12億95百万円 12億90百万円	2億73百万円 2億73百万円 2億73百万円	1億74百万円 1億52百万円 1億61百万円
資本的 収支	水道事業資本的収入	3億62百万円 4億49百万円 3億53百万円	1億28百万円 1億65百万円 1億65百万円	1億27百万円 1百万円 1百万円	1億7百万円 2億83百万円 1億87百万円
	水道事業資本的支出	7億77百万円 11億86百万円 10億72百万円	3億99百万円 7億17百万円 7億18百万円	2億18百万円 88百万円 88百万円	1億60百万円 3億81百万円 2億66百万円
※ 単年度損益		6百万円 44百万円 41百万円	2百万円 48百万円 53百万円	4百万円 1百万円 1百万円	0百万円 △5百万円 △13百万円

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額



平成29年度主要事業の概要

〔水道事業会計（市町村域水道事業）〕

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初（参考）  
 下段 平成28最終（参考）

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>持続可能な事業運営</b>		
<b>四條堰水道事業</b>		
1. 水道事業統合関連事業	30百万円 — —	統合によるメリットを活用した施設の最適配置に伴う整備事業を推進する。  (1) 設計業務委託 30百万円 中野ポンプ場を廃止し、四條堰ポンプ場への機能移転を検討する。 ・中野ポンプ場機能移転計画策定実施設計
2. 改良更新事業の推進	1億39百万円 2億38百万円 2億38百万円	管路の耐震化を図るとともに、老朽化した水道施設（設備）を更新し、将来にわたり安定した水道事業を推進する。 (1) 管路の耐震化 85百万円 主要幹線を中心とした管路について、耐震管への布設替えを行う。 ・市道中野清滝1号線φ200mm ・国道170号φ150mm (2) 災害対策 15百万円 被災時において、避難所で応援給水するための給水栓を設置する。 ・災害対策給水栓設置工事 (3) 老朽化対策 39百万円 アセットマネジメントの考え方に基づいた適切な期間で水道施設（設備）の更新を実施する。 ・中央ポンプ場田原送水ポンプ2号更新 ・第1中継ポンプ場他UPS（無停電電源装置）更新
<b>太子水道事業</b>		
1. 水道事業統合関連事業	1億55百万円 — —	「安全」「強靱(安定)」及び「持続」の視点に基づき、施設整備を実施する。  (1) 安定化対策 1億29百万円 安定した給水を確保できるよう、効率的な施設整備を実施する。 ・板屋橋浄水場急速ろ過機更新工事 ・板屋橋サンドセパレーター更新工事 ・テレメーター盤更新工事 （山田・畑加圧ポンプ場、いわき台配水池） ・管路整備工事（太子西条線）  (2) ポンプ設備更新 26百万円 老朽化しているポンプ設備の更新を図る。 ・聖和台配水池ポンプ設備更新等実施設計委託
<b>千早赤阪水道事業</b>		
1. 水道事業統合関連事業	92百万円 — —	浄水場の浄水施設、ポンプ室や配水池など、水道施設の重要な拠点となる基幹施設や管路の耐震化、老朽施設の更新など推進する。  (1) 村内ループ化 76百万円 既存の川野辺受水場と主要施設間を相互に連絡する村内ループ施設の構築を図る。 ① 送水管布設工事 ② ポンプ設備改良工事  (2) 監視制御設備更新 16百万円 老朽化している監視制御設備の更新を図る。 ① 監視制御設備更新実施設計委託

注) 【新】は平成29年度新規事業



# 大阪広域水道企業団 平成29年度当初予算案の概要

計数調整中

## 予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

工業用水道事業会計	平成29年度当初予算額	138億20百万円
	平成28年度当初予算額	125億57百万円
	平成28年度最終予算額	122億17百万円
	前年度比 (29年度当初/28年度当初)	110.1%

前年度当初比 +12億63百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・修繕費 2億04百万円 (補修工事の増)  
 資本的支出 ・増補改良費 11億11百万円 (中期整備事業計画に基づく事業費の増)

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初  
 下段 平成28最終

事業名		事業費	主な内容
収益的収支	工業用水道事業収益	85億13百万円 83億84百万円 83億79百万円	営業収益(工業用水給水料金等) 7,572百万円 ・基本使用水量455,000m <sup>3</sup> /日、使用水量269,000m <sup>3</sup> /日、超過水量8,900m <sup>3</sup> /日 営業外収益(長期前受金戻入等) 844百万円 特別利益(減量廃止負担金) 97百万円
	工業用水道事業費用	74億42百万円 72億75百万円 69億46百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 6,774百万円 営業外費用(企業債利息等) 599百万円
資本的収支	工業用水道事業資本的収入	1億59百万円 10億72百万円 11億28百万円	工事負担金 155百万円
	工業用水道事業資本的支出	63億78百万円 52億82百万円 52億72百万円	建設改良費(増補改良費等) 3,320百万円 企業債償還金 1,058百万円 投資有価証券 2,000百万円

※資本的収支の差額については、内部留保資金等で補てんする。

※ 単年度損益	8億33百万円 9億44百万円 13億33百万円
---------	--------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成29年度主要事業の概要

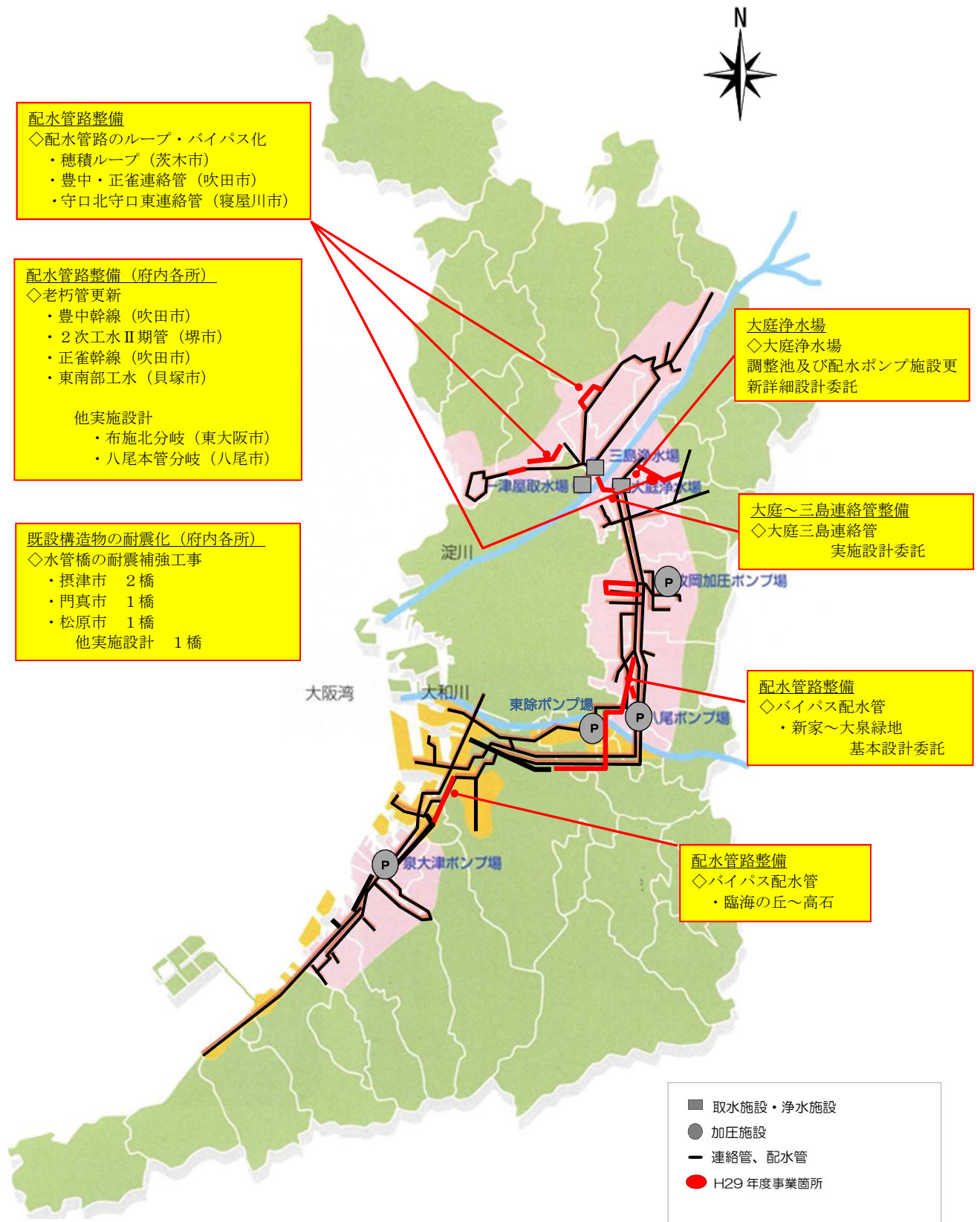
〔 工業用水道事業会計 〕

上段 平成29当初  
 中段 平成28当初  
 下段 平成28最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
<b>I. 安定供給</b>		
1. 改良更新事業の推進	33億20百万円 22億10百万円 22億00百万円	<p>工業用水の安定供給を通じて、産業基盤施設としての役割を果たして行くため、特に優先して整備すべき施設から効率的に整備する。</p> <p>(1) 震災対策 <span style="float: right;">4億81百万円</span></p> <p>①災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス配水管の整備                      [新家～大泉緑地・八尾市、堺市]                      [臨海の丘～高石・堺市、高石市]</li> <li>②既存構造物の耐震化</li> <li>・水管橋下部耐震補強工事                      [北別府水管橋、東別府水管橋・摂津市]</li> <li>・水管橋上部耐震補強工事                      [東別府水管橋・摂津市、西除川水管橋・松原市、古川水管橋東西・門真市]</li> </ul> <p>(2) 安定化対策 <span style="float: right;">13億69百万円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管布設工事                      [豊中正雀連絡管・吹田市、穂積ループ・茨木市]</li> <li>・連絡管布設実施設計委託                      [大庭三島連絡管・摂津市、守口市、守口北守口東連絡管・寝屋川市]</li> </ul> <p>(3) 老朽化対策 <span style="float: right;">11億98百万円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管更新工事                      [2次工水Ⅱ期管・堺市]</li> <li>・配水管布設替工事                      [豊中幹線・吹田市、正雀幹線・吹田市、東南部工水・貝塚市]</li> <li>・配水管布設替実施設計委託                      [布施北分岐・東大阪市、八尾本管分岐・八尾市]</li> <li>・大庭浄水場 調整池及び配水ポンプ施設更新詳細設計委託</li> <li>・大庭浄水場 調整池及び配水ポンプ棟更新工事</li> </ul>
<b>III. 持続可能な事業運営</b>		
1. スリムな組織	87百万円 87百万円 87百万円	<p>(1) 更なる業務の効率化及び組織のスリム化 <span style="float: right;">87百万円</span></p> <p>アウトソーシングによる組織のスリム化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭窪浄水場ほか 運転管理委託</li> <li>・総務業務センター運営委託</li> </ul>

注) 【新】は平成29年度新規事業

# 平成29年度の主要事業（工業用水道事業）





# 災害時における備えの強化①

## ～阪南・岬バイパス送水管整備事業～

### 1 事業概要

#### 施設整備マスタープランにおける位置づけ

震災等の大規模災害時においても最低限の日常生活や社会経済活動の維持に必要な水量が供給可能となるよう、主要な系統を「あんしん水道ライン」と定め、段階的に施設更新・耐震化を推進しています。

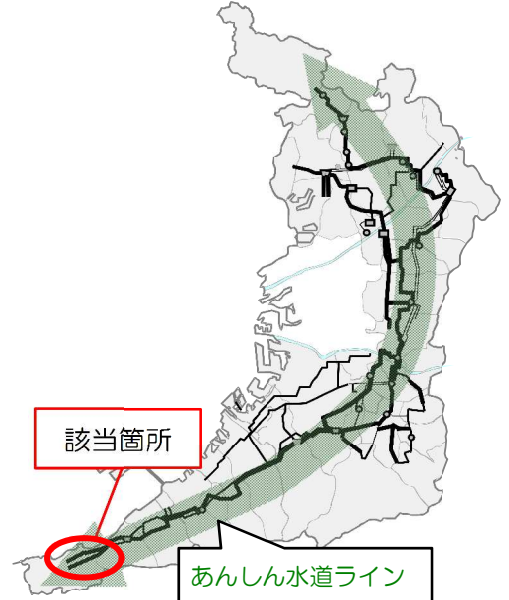
現在、府内全域でこの「あんしん水道ライン」上の管路について2重化・ループ化を行う事業に取り組んでおり、管路のバックアップ機能の確立を図っています。

阪南・岬バイパス送水管整備事業は、この事業の一環として取り組みます。

#### 阪南・岬バイパス送水管整備事業の概要

阪南市の一部及び岬町への送水管は全て単一管路となっており、送水管路事故時における市町村水道の減・断水の影響を低減するため、バイパス送水管を布設し、2重化を図ります。

当事業は、阪南市貝掛～岬町淡輪間の約5kmを平成29～34年度にかけて実施設計・測量・土質調査委託を実施します。  
工事については、平成31年度から実施する予定です。



### 2 工程および事業費

当初予算（案）

平成29年度 0千円

平成30年度 19,224千円

〈参考〉

（単位：千円）

	第3期中期整備事業			第4期中期整備事業				
	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度
実施設計委託	←————→			←————→				
測量委託	←————→			←————→				
土質調査委託	←————→			←————→				
工事			←————→					
事業費	0	19,224	67,896	401,000	380,000	298,000	343,000	399,000

※ H31年度以降の事業費は、施設整備マスタープランにおける事業費に基づく。

## 災害時における備えの強化②

### ～応急給水袋の配備～

#### 1 事業概要

大規模な震災の発生から3日間は、一般的にライフラインの復旧が困難とされており、飲料水については国から1人1日3リットル3日分の個人備蓄が推奨されています。

震災直後においても一定量の水道用水を確保するため、これまであんしん給水栓や拠点給水設備の整備に加え、災害用備蓄水及び応急給水袋の配備を進めてきましたが、このたびの熊本地震応援給水活動の経験を踏まえ、応急給水袋について、必要配備数の見直しを行い追加配備するものです。

#### 2 配備数量

給水袋6リットル用

(単位：枚)

配備対象所属（施設数）	平成28年 （4月末時点の在庫）	購入数
本部	0	1,000
村野浄水場（1）	600	1,600
庭窪浄水場（2）	1,000	3,400
・庭窪、万博		
北部水道事業所（6）	0	13,200
・高槻、郡家、奈佐原、 小野原、千里、 北部送水施設		
東部水道事業所（4）	3,019	5,800
・四條畷、枚岡、 藤井寺、東部		
南部水道事業所（7）	7,000	8,400
・美陵、富田林、狭山、 泉北、和泉、泉佐野、 泉南		
合計数量	11,619	33,400

#### 3 事業費

平成29年度当初予算(案)

 $375 \text{ 円/枚} \times 33,400 \text{ 枚} \times 1.08 \text{ (消費税)} = 13,527 \text{ 千円}$



## 広域化の調査検討

～今後の水道事業広域化に向けての検討～

### 1 事業概要

泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町との水道事業の統合に係る検討委託

（平成 29 年度 0 円、平成 30 年度 39,327 千円）

平成 31 年 4 月の企業団と泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町（以下「7 団体」といいます）との水道事業の統合に向けて、統合後 10 年間（H31～40 年度）における整備内容の検討、事業認可申請書（創設認可）の作成及び生活基盤施設耐震化等交付金申請に係る資料の作成を 2 か年（H29～H30 年度）で行います。

水道事業の広域化に関する調査委託

（平成 29 年度 30,000 千円）

広域化の推進に向けて、企業団と統合の意向を示した団体との統合に向けた課題・効果について、また広域化の要望のあるブロックを対象とした、水質管理、水運用管理、施設運転管理等の業務の共同化について、調査・検討を行います。

### 2 7 団体との統合に係るスケジュール（予定）

時期		内容
平成 28 年度	4 月 25 日	締結式（水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書） 「水道事業及び水道用水供給事業の統合に係る検討業務委託」契約 （統合素案の作成等）
	6 月 9 日	
平成 29 年度	4 月	<b>大阪広域水道企業団と泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・田尻町・岬町との水道事業統合検討業務委託(仮称)発注</b> 首長会議において、統合素案を審議（統合案の確定） 7 団体の議会において、統合に関する議案（規約改正案）を審議 他の団体の議会において、統合に関する議案（規約改正案）を審議 大阪府への規約変更許可申請
	10 月	
	12 月	
	3 月	
平成 30 年度	4 月	統合に係る協定書の締結（7 団体と企業団） 統合準備（給水条例の変更案及び予算の調整等） 企業団議会において、給水条例の変更案及び予算案を審議
	2 月	
平成 31 年度	4 月～	事業開始

### 3 事業費

平成 29 年度当初予算(案) 30,000 千円（平成 30 年度債務負担行為額 39,327 千円）